



## 長福寺三重塔



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	ちょうふくじさんじゅうのとう
所在地	美作市真神
指定年月日	大正10年4月30日
解説	棟札によると、弘安8年(1285)、領主江見左馬頭が大願主となり、邑久郡下阿知村(現岡山市)の大工棟梁国右衛門尉によって真木山の山上に建てられた。昭和26年(1951)、解体修理を行い現位置へ移された。岡山県下の現存する木造建築中最古のものであり、鎌倉時代の建築様式をよく伝えている。方3間(初重4.25m、二重3.44m、三重2.76m)、各重柿[こけら]葺で、総高22.07m。
アクセス方法	JR林野駅から車で約20分
公開状況	外観のみ
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <span>駐車場 </span> <span>トイレ </span> </div>
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	長福寺三重塔
よみかた	ちょうふくじさんじゅうのとう
しょざいち (所在地)	美作市真神
していつひ (指定した日)	大正10年4月30日
せつめい	1285年(ねん)に下阿知村(しもあちそん) (現在(げんざい)の岡山市下阿知(おかや まししもあち))の大工(だいく)によって建 (た)てられました。県内(けんない)でもつ とも古(ふる)い木造建築(もくぞうけんち く)です。県内(けんない)には三重塔(さん じゅうのとう)が全部(ぜんぶ)で14基(き) あって、岡山県(おかやまけん)は、その数 (かず)が全国(ぜんこく)で一番(いちばん) です。